

教科	科 目	単位数	学年・クラス
数学	数学B	2	2年2組

### 1 使用教材

使用教科書	新編 数学B
出版社	数研出版
副教材等	4 STEP 数学Ⅱ + B 教科書傍用
出版社	数研出版

### 2 学習の目標

1	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を理解し事象を数学的に解釈したり処理したりできるようになる。
2	離散的な変化の規則性に着目し、日常の事象や社会の事象を数学化し、解決の過程や結果を振り返って考察できるようになる。
3	日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。

### 3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	既習事項と関連付けて新しい知識を習得し、離散的な変化を関数の変化としてとらえその全体を理解しようとしている。
② 思考・判断・表現	離散的な事象全体を把握し、その方法や結果を批判的に考察しようとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程で数学を活用しようとしたり数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	B	A	C	総合的な出来
小テスト	A	B	C	既習事項を身に付けることができているか
レポート	C	C	A	提出内容
授業	C	B	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

## 4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列  第2節 いろいろな数列  第3節 数学的帰納法	様々な数列について学習するため、基本的な数列の考え方を理解する。  記号 $\Sigma$ を導入し、その性質を知り、正しい理解の下で $\Sigma$ を活用できるようになる。  漸化式の考えを導入して、数列を帰納的に定義することの意味を理解する。
2 学 期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布  第2節 統計的な推測	確率の基本的な考え方を理解するとともに関数としての確率や、二項分布・正規分布などの基本的な分布を理解する。  母集団から捉えた標本の特徴を理解する。
3 学 期	総合演習および数学Cベクトルの予習	入試演習を行うとともに数学Cの簡単な予習を行う。